

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月31日

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C
横断的な課題	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
地域重点政策	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
実施機関	木曽地域振興局		担当課	所属	林務課
事業名	木曽地域木材産業振興対策推進事業			電話	0264-25-2225
				E-mail	kisochi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	木曽地域の林業、木材産業の高付加価値化を推進し、地域産業としての成長を図る。			
	現状と課題	<p>木曽地域は総面積の93%を森林が占める中、近年、天然木曾檜が希少となっている一方で、高品質な人工林の木曾ヒノキやカラマツの資源は充実してきている。しかしながら、地域資源の利活用を支える林業や木材産業は、担い手の高齢化や後継者不足により年々事業者数や生産量が減少しており、様々な条件整備等は進めているものの、生産性向上や付加価値を高める体制づくりが立ち遅れ、未だに多くは原木のまま県外を中心に移出している現状にあり、新たな事業展開に向けては、木曾檜ブランドの強みがある反面、古い意識体質や生産体制などの面で弱みともなっている。</p> <p>他方で、人工林ヒノキやカラマツが利用期となっていることから、林業の生産性向上、木材製品の高付加価値化を進め、自立した産業として林業・木材産業の振興を図るとともに、林業大学校や上松技術専門校、木曾青峰高校等の林業・木工関係の教育機関とも連携により後継者育成・技術の伝承を進め、持続性・発展性が高い地域産業の振興を図る必要がある。</p> <p>こうした中、林業・木材産業の高付加価値化を推進させ、戦略的な施策を展開させることを目的として産学官連携の「木曽地域木材産業振興対策協議会」を設置しており、令和5年度から5ヶ年間の「木曽地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップ2023」に基づき、木曽産材の高付加価値化等を重点的・継続的に取り組んでいる。</p>			
概要	内容 (変更後の内容)	<p>1 協議会の開催 産学官協働により組織する「木曽地域木材産業振興対策協議会」を開催し、しあわせ信州創造プラン3.0木曽地域計画の「林業・木材産業の振興」の達成に向け、地域の課題解決のためのロードマップの進捗管理、課題の検討等を行う。</p> <p>2 高品質製材のためのJAS認証工場を核とした地域製材工場の水平連携の体制づくり等 林業機械化や木曽地域の水平連携の構築に向けて、関係者からの意見聴取や勉強会・先進地視察等を行い、公共施設等のJAS材指定物件や大規模受注等が可能な供給体制づくりを進める。</p> <p>3 都市部展示会への出展・木曽産材の魅力発信 新たな木材需要を喚起するため、東京ビックサイトにおいて全国規模で開催される、国産木材の可能性と未来を探る木の展示会「ウッドコレクション2026(モクコレ)」等の都市部における木材製品展示会に出展し、木曽産材及び製材品、伝統工芸品等の強みや魅力の啓発活動を展開する。また、上松技術専門校からも職員が参加し、木曽材による家具等製品の販路拡大の可能性を探る。</p> <p>4 主伐再造林の推進及び三校連携(林大・木曽青峰・上松技専)の推進 森林資源充実に伴う主伐・再造林を促進するため、課題調査、連携体制の検討、勉強会等を行うとともに、林業・木材産業の担い手確保・育成を図り、木曽谷・伊那谷フォレストバレーに資するため、三校連携による現地見学会や交流会を実施する。</p>			
		事業期間	令和7年6月 ~ 令和8年3月		
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	1 木曽地域木材産業振興対策協議会の開催	ロードマップ進捗管理・課題検討等	83,940	報償66,000、費弁17,940	
	2 林業機械化やJAS工場を核とした水平連携体制の確立	意見聴取や勉強会・先進地視察等	97,154	旅費97,154	
	3 都市部展示会への出展・木曽産材の魅力発信	都市部展示会への出展、全国への木曽材の強み、魅力発信	351,932	旅費166,252(林務課+上松技専)、需用費177,980、使用料7,700	
	4 主伐再造林の推進及び三校連携の推進	課題調査、勉強会、見学会・交流会等	971	需用費971	
合計			533,997		
達成指標及び状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	地域材を製材加工した製品出荷量		13,000m ³	12,128m ³	<input type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input checked="" type="radio"/> 未達成
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・木曽地域木材産業振興対策協議会を開催し、ロードマップの進捗や取組方策の確認等を実施した。 ・カラマツプロジェクトの活用戦略方針に基づき展開し、主伐・再造林に向けた関係者の意識向上や実施地の拡大・利用が図れた。(R6:2.7ha⇒R7:5.9ha) ・モクコレ2026(東京ビックサイト)に関係企業と出展し、木曽木材製品の強度等の魅力を発信・販路拡大を図った。 ・三校連携バスツアーを始めて開催し、木曽青峰高等学校からの林大等への入学希望者が増加した。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略指針に基づき、主伐・再造林を進め素材の供給を増加させるとともに、建設中の厚合板工場への安定供給を図り高付加価値化を図るとともに、JAS工場を核とした製材工場の水平連携体制を構築する。 ・都市部展示会への出展や情報発信の取組等を強化し販売促進につなげ、木材産業の振興を推進する。 				

(単位:円)